第 21 講　国際社会への復帰と高度成長
PART1 国際社会への復帰

Chapter 1　吉田内閣の継続と冷戦の展開

目標
ドッジとシャウプが来日した目的は何だろう？
東西冷戦「雪どけ」への期待が高まったのはなぜだろう？

1　吉田茂内閣の継続

①**第三次吉田茂内閣**（民主自由党のち**自由党**，1949 ～ 52 年）

1949 年　**ドッジ = ライン**→経済安定九原則の実行
GHQがデトロイト銀行頭取のドッジを招請。ドッジは，当時の日本経済を
アメリカと日本政府の援助の二本足で立つ「**竹馬経済**」と酷評。
1 円の赤字も許さない超均衡予算を設定して復興金融金庫の融資を停止，
国民に増税と耐乏生活を要求。
※また，**1 ドル＝ 360 円**の**単一為替レート**を設定，のち**固定相場制**をスタートさせ，ドルを基軸通貨とする**ブレトン = ウッズ体制**に日本を組み込んだ。
安定恐慌〔ドッジ = デフレ〕
※行財政整理＋企業整備の**デフレ政策**により失業者が急増。
しかし**国鉄三大怪事件**の発生で労働者の抵抗は押し切られた。
シャウプ勧告→経済安定九原則の実行
※コロンビア大学教授のシャウプが団長の税制専門家チームを招請。
①**直接税中心主義**②地方税の独立③法人税の引き下げ④税制機構の合理化からなる税制改革を勧告。直接税（とくに累進課税制度を採用した
〔1　　　　　〕）中心の新税制がスタート。

1950 年　自由党の成立（総裁＝吉田茂）→民主自由党を改組
国民民主党の成立　→民主党と国民協同党が合同
〔2　　　　　〕の開始→**特需景気**（1950 ～ 53 年）の始まり
※繊維・金属を中心とする朝鮮特需により，安定恐慌から脱出。
レッド = パージ・警察予備隊設置・公職追放解除

1951 年　**サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約**

日本社会党が左右両派に分裂

1952年　改進党の成立（総裁＝重光葵）→国民民主党を改組

保安隊設置

抜き打ち解散

②第四次吉田茂内閣（自由党, 1952～53年）

1953年　バカヤロー解散→鳩山一郎らが分党派自由党を結成し吉田との対立が激化

③第五次吉田茂内閣（自由党, 1953～54年）

1953年　朝鮮戦争休戦・**奄美群島の返還**

1954年　ビキニ水爆実験による第五福竜丸事件

MSA協定の締結→防衛庁・自衛隊の設置

造船疑獄事件

※検察庁が自由党幹事長佐藤栄作の逮捕許諾請求を決定したが,

　法務大臣犬養健が指揮権を発動して阻止。吉田内閣に対し批判が集中した。

日本民主党の結成（総裁＝**鳩山一郎**）

※自由党反吉田派･改進党などが合同。左右社会党とともに内閣不信任案を提出。

2　冷戦の展開

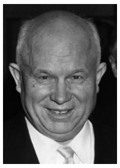
1950年　**朝鮮戦争開始**→南を国連軍（アメリカ中心),北をソ連・中国人民義勇軍が支援

1951年　サンフランシスコ平和条約

1952年　アメリカによる初の水素爆弾実験→翌年にソ連も水爆保有を宣言

1953年　**朝鮮戦争休戦**→北緯38度線の**板門店**

ソ連のスターリン死去→〔3　　　　　　　　〕政権へ



フルシチョフ

1954年　アメリカ,太平洋ビキニ環礁で水爆実験を実施

平和五原則→周恩来首相（中）・ネルー首相（印）が発表→第三世界

ジュネーヴ会議→ジュネーヴ休戦協定〔インドシナ休戦協定〕の締結

※ベトナムは北緯17度線でフランスから南北分断独立。

1955年　アジア・アフリカ会議〔バンドン会議〕→第三世界

西ドイツのNATO加盟・WTO〔ワルシャワ条約機構〕結成

ジュネーヴ四巨頭会談→米ソ英仏の「**雪どけ**」への期待高まる

まとめ

ドッジとシャウプは経済安定九原則実行のために来日した。

ソ連がフルシチョフ政権に変わったことで「雪どけ」への期待が高まった。

Chapter 2 「逆コース」と国際社会への復帰

目標
サンフランシスコ平和条約の国内的な問題点について知ろう。
「逆コース」とは何か理解しよう。

1 「逆コース」の進行と日本の独立

サンフランシスコ平和条約調印

1950年 **朝鮮戦争の開始**→アメリカは日本を国連軍の中継地として利用

レッド＝パージ

→マスコミ・官公庁・企業で**共産主義者の追放**を実施

〔1　　　　　　　　　　〕の設置（**第三次吉田茂内閣**）

公職追放解除の決定（1952～58年）

1951年 アメリカ講和特使・外交顧問ダレスの来日

※国内では〔2　　　　　　　〕**論**（自由主義陣営のみと講和）と
〔3　　　　　　　〕**論**（社会主義陣営・第三世界を含む講和）が対立。東大総長の南原繁・大内兵衛・安倍能成や，社会党・共産党は**全面講和運動**を展開。

GHQ・国連軍最高司令官**マッカーサー元帥の解任**

※朝鮮戦局の行き詰まり打開を図り満洲爆撃を主張，戦争拡大を恐れる
トルーマン大統領と衝突し突如解任された（後任はリッジウェイ中将）。

〔4　　　　　　　　　　　　　〕**講和会議**（日本首席全権＝**吉田茂首相**）

※９月８日，**日本と48か国との間**で**サンフランシスコ平和条約**が調印され，主権を回復。しかし，奄美・小笠原・沖縄の各諸島はアメリカの施政権下に置かれた。

※連合国のうち，①**インド**・ビルマ・ユーゴスラヴィアは出席を拒否
②〔5　　　　〕・ポーランド・チェコスロヴァキアは出席したが調印せず
③〔6　　　　　　　　　　〕・**中華民国〔台湾〕**
は英・米の対立から招聘されず。

〔7　　　　　　　　　　　　　〕の締結→平和条約と同日

※占領軍は**駐留軍**となる。しかし，①**アメリカの日本防衛義務欠如**
②**期限不明確** ③「極東」についての明確な定義なし
④国内紛争に際しアメリカ軍の介入を認める（＝**内乱条項**）などの問題が残存。

日本社会党の左右分裂→平和条約・安保条約の締結による

※左派（両方に反対）・右派（安保条約にのみ反対）に分裂。

1952 年　**日米行政協定**の締結→日米安全保障条約に基づく協定（国会承認はなし）
※日本は米軍に基地（施設・区域）を無償提供，駐留費用も分担
（＝**防衛分担金**）。**内灘（石川県）**・**砂川（東京都）**などで**基地反対闘争**が起こる。

2　国際社会への復帰

1952 年　**日華平和条約**→台湾の中華民国政府との講和条約
サンフランシスコ平和条約の発効（4 月 28 日）
皇居前広場事件〔血のメーデー事件〕（5 月 1 日）
※独立回復後初のメーデーで起こった, デモ隊と警官隊の大乱闘。2 名が射殺される。
日印平和条約→インドは賠償請求権を放棄
［8　　　　　　　　　　　　　　］**〔破防法〕**
※皇居前広場事件を契機に成立。暴力主義的破壊活動を行った団体に対する
取締まりを規定，調査機関として**公安調査庁**を設置。
保安庁の設置→警察予備隊が改組され**保安隊**となる（第四次吉田茂内閣）

1953 年　池田・ロバートソン会談→日本の再軍備についての基本合意が成立
［9　　　　　　　　　］の返還

1954 年　［10　　　　　　　　　　］**事件**
※［11　　　　　　　　　］が**太平洋ビキニ環礁**で実施した**水爆実験**により，
日本の遠洋マグロ漁船が危険区域外で「死の灰」を浴び，1 名が亡くなる。
MSA協定〔日米相互防衛援助協定など 4 協定〕の締結
警察法の改正〔新警察法〕
※従来の自治体警察・国家地方警察を廃止。道府県警察を設置し，
国家公安委員会傘下の**警察庁**を中心とする警察制度の中央集権化を推進。
教育二法の制定→公立学校教員の政治活動・政治教育を禁止
防衛庁・［12　　　　　　　　］の設置（**第五次吉田茂内閣**）
※MSA協定締結に伴い，陸上・海上・航空の 3 自衛隊を設置。
最高指揮権は内閣総理大臣に属し，**文民**の防衛庁長官が統括することとなった。
日ビルマ平和条約→ビルマは賠償を請求

1955 年　**第一回原水爆禁止世界大会→広島**で開催し原水爆禁止運動へと発展

まとめ
サンフランシスコ平和条約では，沖縄県などが切り捨てられていた。
「逆コース」は反動的に戦前体制に戻っていくことを皮肉る用語だった。

第21講 PART 1　確認問題

1 輸出振興のため，1949 年に単一通貨レートは 1 ドル何円に設定されたか。

① 200 円　② 260 円
③ 320 円　④ 360 円

2 新税制創設のため GHQ が日本に招聘したのはだれか。

① ロイヤル　② ドッジ
③ シャウプ　④ ケナン

3 1954 年に結成された日本民主党の総裁はだれか。

① 芦田均　② 石橋湛山
③ 鳩山一郎　④ 岸信介

4 スターリンの死後，ソ連で政権を握ったのはだれか。

① レーニン　② ゴルバチョフ
③ ブレジネフ　④ フルシチョフ

5 連合国のうち，サンフランシスコ講和会議の出席を拒否した国はどこか。

① インド　② ポーランド
③ 中華人民共和国　④ ソ連

6　日米安全保障条約に基づき，1952 年に締結されたのはどれか。

① 日米地位協定　② 日米行政協定
③ 日米漁業協定　④ 日米相互防衛援助協定

7　1952 年，警察予備隊から改組された組織はどれか。

① 自衛隊　② 保安隊
③ 海上保安庁　④ 海上警備隊

8　1953 年に日本に返還されたのはどこか。

① 奄美群島　② 歯舞群島
③ 小笠原諸島　④ 沖縄

第 21 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④

ドッジ＝ラインに基づき1ドル＝360円の単一為替レートが設定され，のち**固定相場制**を導入した。

2 解答：③

シャウプはコロンビア大学教授で，**直接税中心主義**，地方税の独立，法人税の引き下げ，税制機構の合理化からなる税制改革を勧告（**シャウプ勧告**）した。

3 解答：③

日本民主党は自由党反吉田派・改進党などが合同して結成された。左右社会党とともに内閣不信任案を提出した。

4 解答：④

フルシチョフは平和共存路線を打ち出した。

5 解答：①

②のポーランドと④のソ連は出席したが，条約に調印しなかった。③の中華人民共和国は中華民国〔台湾〕とともに，英・米の対立から招聘されなかった。

6 解答：②

日米行政協定は締結後の国会の承認はなかった。④の日米相互防衛援助協定を含む**MSA協定**は1954年に締結された。

7 解答：②

保安庁が設置された後，警察予備隊が改組されて**保安隊**となった。

8 解答：①

奄美群島の返還は，第五次吉田茂内閣によって実現された。